

(19) 日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-186281

(P2001-186281A)

(43) 公開日 平成13年7月6日 (2001.7.6)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	テームト* (参考)
H 0 4 M 11/08		H 0 4 M 11/08	5 B 0 8 9
// G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数20 OL (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平11-367208

(22) 出願日 平成11年12月24日 (1999. 12. 24)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 宮崎 富弥

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 八尋 一夫

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

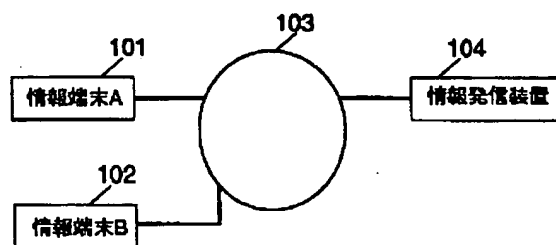
最終頁に続く

## (54) 【発明の名称】 情報端末と情報配信システム

## (57) 【要約】

【課題】 必要な情報を選択可能であり、その情報に基づき、必要なサービスを受けることができる情報端末と情報配信システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 情報端末101は、サービス情報を情報発信装置104からインターネット網103を介して入手し、必要なサービス情報であればインターネット網103を介してサービス情報を情報発信装置104へ要求を行う。その要求を受けて、さらなるサービス情報を同様に入手が可能となる。情報発信装置104のサービス情報として、情報端末101の要求に応じて、音声、データ、画像などの少なくとも一つ以上のサービス情報を選択を可能な構成とする。また、サービス情報が、広告情報、消耗品等の消費情報、音楽、映画、ゲームなどのエンターテインメント情報であって、エンターテインメント情報として、タイトル、アーティスト名、コースト、一部の試聴などの少なくとも一つ以上の情報が入手可能となる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】少なくとも一つの通信回線を有する情報端末と少なくとも一つの情報発信装置にあって、前記情報発信装置のサービス情報を前記通信回線を介して、前記情報端末にて再生又は記録することを特徴とする情報端末と情報配信システム。

【請求項2】少なくとも一つの通信回線を有する情報端末と少なくとも一つの情報発信装置にあって、前記情報発信装置のサービス情報を前記通信回線を介して、前記情報端末にて再生又は記録することと、前記情報端末からサービス情報に対する応答を前記情報発信装置へ送信することを特徴とする情報端末と情報配信システム。

【請求項3】前記情報発信装置のサービス情報として、音声、データ、画像などの少なくとも一つ以上のサービス情報であることを特徴とした請求項1から2記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項4】前記サービス情報が、広告情報であることを特徴とする請求項1から3記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項5】前記サービス情報が、消耗品等の消費情報であることを特徴とする請求項1から3記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項6】前記サービス情報が、音楽、映画、ゲームなどのエンターテインメント情報にあって、前記エンターテインメント情報として、タイトル、アーティスト名、コスト、一部の試聴などの少なくとも一つ以上の情報であることを特徴とする請求項1から3記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項7】前記サービス情報を配信し、前記情報端末にて再生し、要求に応じて、前記商品を配達することとする請求項1から6記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項8】前記情報端末にあって、デジタル方式により情報を読み取る読み取り手段と、前記読み取り手段で読み取られた情報が可視情報である際、この可視情報を表示する表示手段と、前記読み取り手段で読み取られた情報が音声情報である際、この音声情報を再生する聞き取り手段と、検索情報を入力し、この検索情報に対応する情報をランダムに検索する検索手段と、この検索手段により検索された情報の内容を前記表示手段または前記聞き取り手段に出力する再生手段とを有することを特徴とする請求項1から7記載の情報端末。

【請求項9】前記表示手段と前記聞き取り手段とが、一体に設けられていることを特徴とする請求項1から8記載の情報端末。

【請求項10】前記再生手段は、可視情報と音声情報とを同期して出力することを特徴とする請求項1から9記載の情報端末。

【請求項11】前記検索手段は、情報の概略の内容を示すインデックス情報を表示するとともに、前記インデックス情報を選択することにより表示または再生すべき情

報を取り出すことを特徴とする請求項1から10記載の情報端末。

【請求項12】前記聞き取り手段及び前記表示手段は、前記装置本体とワイヤレスに接続されていることを特徴とする請求項1から10記載の情報端末。

【請求項13】情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と前記情報を配信する配信部を有することを特徴とする請求項1から12記載の情報端末。

【請求項14】情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と前記入力装置部の入力情報をコントロールするコントロール部と、前記情報を配信する配信部を有することを特徴とする請求項1から13記載の情報端末。

【請求項15】前記コントロール部では、少なくとも一つ以上の上下、左右、ズーム等のフォーカス機能等を有することを特徴とする請求項1から13記載の情報端末。

【請求項16】前記情報端末にあって、前記情報端末の情報を入手するためには、特別なKEYがあり、前記KEYが合致したときに、前記情報端末の情報を入手可能であることを特徴とした請求項1から15記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項17】情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と情報を出力することを特徴とする請求項1から16記載の情報端末。

【請求項18】前記情報を入力する入力装置部での入力情報が、変化したことを検出する異常検出手段にあって、前記異常検出手段にて、異常を検出するとその情報を出力することを特徴とする請求項1から17記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項19】前記異常検出手段で得た情報を表示・プリントアウト・警報等で知らせる等の警告情報を知らせることを特徴とする請求項1から18記載の情報端末と情報配信システム。

【請求項20】前記情報の入手するための課金情報管理を有することを特徴とする請求項1から19記載の情報端末と情報配信システム。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、通信回線を介して、情報の入手や配信等を行う情報端末と情報配信システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、電話機間を接続する電話網は、第1種電気通信事業者による提供が定められており、音声信号によって送受信されるものであった。このような電話網において、通話情報以外の音声情報を発信するものとしては、例えば日本電信電話株式会社が提供するダイヤルQ2のような、電話網の交換機を直接介して商用の音声情報を発信するサービスがある。このサービスは、利用者が商用の音声情報に対する情報入手料を支払うも

10

20

30

40

50

のであり、通信事業者が情報発信者に代わって利用者からこの情報入手料を課金決済及び回収をするものである。このような音声情報を発信するために、通信事業者の設備内に音声情報発信装置を設け、ダイヤルQ2を提供する特定の電話番号へ発呼した電話機に対して、直接電話網を介して送信するものである。

【0003】また、前述したような電話網に対照して、最近では、本来コンピュータ間でデータを送受信する網であるインターネットを介して、音声情報を送受信することも可能となってきた。これは、インターネット

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の電話網等の通信回線におけるサービス情報の発受信については、十分な情報のやりとりができる仕組みが存在しなかった。つまり、テレビ放送でも、前述したホームページ

【0005】また、従来の広告情報の発信サービスは、不特定多数の利用者を対象としているために、利用者にとって半ば強制的なものであった。

【0006】本発明は上記従来の技術を鑑みてなされたもので、必要な情報を選択可能であり、その情報に基づき、必要なサービスを受けることができ、さらに、外部

【0007】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために本発明の情報端末は、少なくとも一つの通信回線を有する情報端末と少なくとも一つの情報発信装置にあって、前記情報発信装置のサービス情報を前記通信回線を介して、前記情報端末にて再生又は記録することと、前記情報端末からサービス情報に対する応答を前記情報発信装置へ送信することで、必要な情報を選択可能であり、その情報に基づき、必要なサービスを受けることができる、また、情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と前記情報を配信する配信部にて、情報を配信することができる情報端末と情報配信システムを提供するものである。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載の発明は、少なくとも一つの通信回線を有する情報端末と少なくとも一つの情報発信装置にあって、情報発信装置のサービス情報を通信回線を介して、情報端末にて再生又は

記録することでサービス情報を入手することができる。

【0009】本発明の請求項2に記載の発明は、少なくとも一つの通信回線を有する情報端末と少なくとも一つの情報発信装置にあって、情報発信装置のサービス情報を通信回線を介して、情報端末にて再生又は記録することと、情報端末からサービス情報に対する応答を情報発信装置へ送信することを特徴とする情報端末と情報配信システムによって所望のサービス情報を入手することができる。

【0010】本発明の請求項3に記載の発明は、情報発信装置のサービス情報として、音声、データ、画像などの少なくとも一つ以上のサービス情報を入手することができる。

【0011】本発明の請求項4に記載の発明は、サービス情報として広告情報を入手することができる。

【0012】本発明の請求項5に記載の発明は、サービス情報として商品等を入手することができる。

【0013】本発明の請求項6に記載の発明は、サービス情報が、音楽、映画、ゲームなどのエンターテインメント情報であって、エンターテインメント情報として、タイトル、アーティスト名、コースト、一部の試聴などの少なくとも一つ以上の情報を入手することができる。

【0014】本発明の請求項7に記載の発明は、サービス情報を配信し、情報端末にて再生し、要求に応じて、商品を配達することでサービスをうけることができる。

【0015】本発明の請求項8に記載の発明は、情報端末にあって、デジタル方式により情報を読み取る読み取り手段と、読み取り手段で読み取られた情報が可視情報である際、この可視情報を表示する表示手段と、読み取り手段で読み取られた情報が音声情報である際、この音声情報を再生する聞き取り手段と、検索情報を入力し、この検索情報に対応する情報をランダムに検索する検索手段と、この検索手段により検索された情報の内容を表示手段または聞き取り手段に出力する再生手段にて、サービス情報を入手できる。

【0016】本発明の請求項9に記載の発明は、表示手段と聞き取り手段とが、一体に設けられていることによりコンパクトにできる。

【0017】本発明の請求項10に記載の発明は、再生手段は、可視情報と音声情報とを同期して出力することとでわかりやすい表現ができる。

【0018】本発明の請求項11に記載の発明は、検索手段は、情報の概略の内容を示すインデックス情報を表示するとともに、インデックス情報を選択することにより表示または再生すべき情報を取り出すことで、必要な情報の検索を容易にできる。

【0019】本発明の請求項12に記載の発明は、聞き取り手段及び表示手段は、装置本体とワイヤレスに接続されていることで、取り扱いが容易にできる。

【0020】本発明の請求項13に記載の発明は、情報

端末にあって、情報を入力する入力装置部と情報を配信することで、必要な情報を外部より入手できる。

【0021】本発明の請求項14に記載の発明は、情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と入力装置部の入力情報をコントロールすることで、必要な情報を入手可能になる。

【0022】本発明の請求項15に記載の発明は、コントロール部では、少なくとも一つ以上の上下、左右、ズーム等のフォーカス機能等を有することで、詳細な情報を入手可能になる。

【0023】本発明の請求項16に記載の発明は、情報端末にあって、情報端末の情報を入手するためには、特別なKEYがあり、KEYが合致したときに、情報端末の情報を入手可能であることで、セキュリティを保つことができる。

【0024】本発明の請求項17に記載の発明は、情報端末にあって、情報を入力する入力装置部と情報を出力することで、状況の変化を把握することができる。

【0025】本発明の請求項18に記載の発明は、情報を入力する入力装置部での入力情報が、変化したことを検出する異常検出手段にあって、異常検出手段にて、異常を検出すると、変化情報を入手できる。

【0026】本発明の請求項19に記載の発明は、異常検出手段で得た情報を表示・プリントアウト・警報等で知らせることで警告情報を知らせることができる。

【0027】本発明の請求項20に記載の発明は、情報の入手するための課金情報管理を有することで、課金管理と広告料への配分が可能となる。

【0028】(実施の形態1)以下本発明の一実施の形態について、図面を参照しながら説明する。ここでは、インターネットプロトコルを有する通信網として代表的なインターネット網を利用した情報システムについて説明していく。図1は本発明の実施の形態1における情報端末と情報配信システムの構成図である。図1において101、102は情報端末であり、情報端末A101は、インターネット網103を介して入手したサービス情報を再生または、情報を記録保存する情報端末である。104は情報発信装置であり、インターネット網103を介してサービス情報を発信する。

【0029】情報端末A101は、電話機、FAX、テレビ電話機、パソコン等であってもよい。また、通信網は、ISDNのような統合デジタル通信網、国際公衆網、ケーブルモデム網、DSLモデム網又は企業内で独自に構築したイントラネット網であってもよい。つまり、情報端末A101から、インターネットへ接続できればよい。インターネット網103は、OSI (Open Systems Interconnection) におけるIP (Internet Protocol) 層を提供できるものであれば、開放型広域ネットワークでも企業内で独自に構築したイントラネット網でも

かまわない。また、物理層、データリンク層及びネットワーク層に特別の限定も必要ない。

【0030】情報端末A101は、サービス情報を情報発信装置104からインターネット網103を介して入手し、必要なサービス情報であればインターネット網103を介してサービス情報を情報発信装置104へ要求を行う。その要求を受けて、さらなるサービス情報を同様に入手が可能となる。

【0031】情報発信装置104のサービス情報として、情報端末A101に応じて、音声、データ、画像などの少なくとも一つ以上のサービス情報を選択可能な構成とすることが可能である。また、サービス情報が、広告情報、消耗品等の商品情報、音楽、映画、ゲームなどのエンターテインメント情報であって、エンターテインメント情報として、タイトル、アーティスト名、コースト、一部の試聴などの少なくとも一つ以上の情報が入手可能となる。

【0032】また、情報発信装置104のサービス情報を情報端末A101で入手して、必要な場合は、情報端末A101はその要求を情報発信装置104に通知し、情報発信装置104はその情報を受けて、インターネット網103で配信可能な情報であれば、同様に情報端末A101へサービス情報を提供する。もし、インターネット網103で配信が不可能なサービスである例えば、生活用品であれば、その要求されている商品を配達するシステムへ連絡することで、要求した人へ配達可能なシステムにすることは言うまでもない。

【0033】図2は本発明の実施の形態1における情報端末の斜視図である。図2において、1は装置本体、2はインターネット網からデジタル方式で可視情報(文字情報、画像情報)及び音声情報の全部、一部が圧縮するか、そのままのサービス情報を入手する通信回線である。3は通信回線2からのサービス情報が記録され、かつ装置本体1に着脱自在に装着される記録媒体としての半導体メモリを用いたカード型記録媒体(以下メモ리카ードあり、装置本体に挿入可能であり、図示せず)である。4は装置本体1からメモ리카ード3を取り出す取り出しスイッチ、5は音声ボリューム、6は停止スイッチ、7は早送りスイッチ、8は再生・表示スイッチ、9は逆戻しスイッチ、10は情報選択スイッチ、11は可視情報(文字情報、画像情報)を表示する表示手段としての表示板(液晶ディスプレイ(LCD))である。また、12はFM受信機、13は音声情報を再生する聞き取り手段としてのヘッドフォンである。情報が記録されたメモ리카ード3はカード出し入れ口に挿入して再生し、メモ리카ード3の情報は概略の内容紹介がインデックス情報として表示板11に表示される。使用者は表示板11を見て希望の項目を情報選択スイッチ10にて選択し、選択された情報が音声情報であれば、装置本体1から伝送されるFM波をFM受信機12で受信し、接続

されたヘッドホン13によって使用者に音声として伝達される。選択された情報が文字情報や画像情報を含んでいる場合には、表示時間を制御する情報に従い一定時間だけ表示板11に文字・画像や図形が表示され、次々に表示が更新されていく。また、文字・画像と音声の情報を含んでいる場合にはそれぞれ時間的に同期して表示、再生される。インデックス情報としての項目が選択されない場合は、メモ리카ード3上に記録された順序に従って情報が表示または再生される。さらに利用者は、

【0034】表示板11への表示例を、図3と図4を用いて説明する。図3は本発明の実施の形態1における情報端末の表示例を示す図であり、即時性の高いニュースをメモ리카ード3に記録した場合の表示例を示す。このとき表示板11にはニュースの大まかな項目だけが表示され、使用者は情報選択スイッチ10により聞きたいまたは表示したいニュースの項目を選択する。例えばスポーツという項目が選択されると、その内容の情報が文字・画像情報として表示板11に表示され、またこの文字情報に対応する音声情報があるときは、文字・画像表示と同期して音声情報がヘッドホン13から再生され、利用者は文字・画像表示を見ながらこの音声情報を聞くことができる。

【0035】また、図4も本発明の実施の形態1における情報端末の表示例を示す図であり、英語の正しい発音を支援する場合の表示例を示す。このとき、表示板11に大まかな内容の項目が表示され、例えば利用者がこれらの項目のうち、単語の難易度別に分類された項目を選択したものとすると、英単語の文字及び発音要領を示す画像が次々と表示板11に表示され、この表示板11の表示と同期して、音声情報としてヘッドホン13から正しい発音が再生される。したがって、利用者は文字及び発音要領を見ながら正しい発音を聞くことができる。

【0036】このように、文字情報、画像情報、音声情報のうち複数の情報がある場合には、メモ리카ード3内のメモリ上には属性が異なる情報が交互に格納されており、また表示、再生の同期化を図るために、文字・画像の表示時間や音声情報の再生タイミングを制御する情報が記録されている。この再生タイミングを制御する情報が参照されることにより、可視情報（文字情報、画像情報）と音声情報とを同期的に表示・再生することができる。

【0037】図5は本発明の実施の形態1における情報端末の構成を示すブロック図である。図5において、2は可視情報（文字情報、画像情報）及び音声情報がデジタル方式により圧縮して記録されたメモ리카ードである。2は通信回線、14は通信回線2からデジタル方式で可視情報（文字情報、画像情報）及び音声情報の全

部、一部が圧縮するか、そのままのサービス情報を入手する外部インタフェースである。メモ리카ード3は、外部インタフェース14に接続されサービス情報を保存する。20はDMA（ダイレクトメモリアクセスコントローラ）であり、このDMA20によりメモ리카ード3内のメモリ上の情報が、バス15を通じて読み出される。これら外部インタフェース14及びDMA20により、記録媒体としてのメモ리카ード3に記録された情報を読み取る読み取り手段が形成される。

【0038】読み取り手段により、メモ리카ード3から読み出された音声情報は、デジタル信号処理回路16により圧縮する以前の時間軸であるデジタル信号に変換（伸張）され、さらにD/Aコンバータ17によりアナログ信号に変換された後、FM変調回路18によりFM信号に変換され送信器19により送信される。そして、送信されたFM信号は受信器26により受信され、FM復調回路27によりアナログオーディオ信号へ復元され、オーディオアンプ28を通して、聞き取り手段としてのヘッドホン13から音声として出力される。29は装置本体1の電源であり電池で構成される。また、同様に、圧縮された文字情報、画像情報は、メモ리카ード3から読み取られた後、映像復調回路22によって再生され、LCDコントローラ23により文字情報、画像情報の表示手段である表示板11に表示される。再生手段は、デジタル信号処理回路16、D/Aコンバータ17、FM変調回路18、送信器19、受信器26、FM復調回路27、オーディオアンプ28と、映像復調回路22、LCDコントローラ23とからなる。

【0039】システムコントローラ21は、タイマ機能、割り込み処理を行い、またメモ리카ード3内のメモリ管理や情報検索、キー管理、表示部の管理を行い命令により各回路の制御を行っている。これらの機能のうち、タイマ機能により、設定時刻になると、利用者に対する旨を伝えることができる。設定時刻になった旨を伝える態様としては、再生をストップさせる、ヘッドホン13により音で知らせる、または、圧電素子等による振動発生器（図示せず）を付加しておき振動で知らせる、表示板11にその旨を表示するなど種々考えられる。このようにすれば、利用者は他人に知られることなく設定時刻を知ることが可能であり、電車等を利用する場合に乗り過ごすこともない。検索手段は、このシステムコントローラ21からなる。また操作部25は、取り出しスイッチ4、音声ボリューム5、停止スイッチ6、早送りスイッチ7、再生・表示スイッチ8、逆戻しスイッチ9、情報選択スイッチ10などからなる。そして、利用者がシステムコントローラ21に対し検索情報を入力するには、これら操作部25のうちの情報選択スイッチ10を操作し、選択するようになっている。しかし、他の適当なスイッチを割り当ててもよいし、表示板11にキーを表示し選択して入力するようにしてもよい。

【0040】また本実施の形態のように、着脱性の記録媒体としてメモリカード3を用いた場合、可動機構部がないために小型で軽量かつ対衝撃性に優れ、また低消費電力を実現することが可能となる。そのため、バッテリー駆動でありながら従来の情報再生装置に比べ長時間の動作が可能であり、充電する手間も少なくなる。また本実施の形態においては記録媒体としてメモリカード3を用いたが、例えば着脱可能なハードディスク装置等を用いても、対衝撃性、消費電力の面でややメモリカード3に比べ劣るが同様の効果が期待できることは言うまでもない。さらに本実施の形態では、ヘッドホン13をコードレスで構成したが、勿論コードで接続するようにしても差支えない。

【0041】本実施の形態における情報端末1は、サービス情報を半導体メモリなどの記憶機能を有する装置にて、一旦、保存しているが、直接再生も可能であるし、そのメモリを他の携帯型の情報端末にいれることで、情報端末が安価で、形態性のある装置構成にしてもなら問題がないことは言うまでもない。また、情報端末がパーソナルコンピュータまたは同等の機能を有するものであれば実現可能なことも言うまでもない。さらに、メモリカードを着脱可能としているが、内部メモリとして使用する構成に可能なことは言うまでもない。

【0042】（実施の形態2）図6は本発明の実施の形態2における情報端末の斜視図であり、図6において、図5の実施の形態と同一番号のものは同一機能であり、構成の説明を省略する。本実施の形態では、文字情報、画像情報の表示板11と、音声情報を伝えるヘッドホン13とを一体に構成している。したがって、利用者は表示板11とヘッドホン13とを一度に頭部に装着できる。このため、装着が簡単になり操作性が向上する。

【0043】動作内容については図5の実施の形態と同様であるので重複説明は省略する。なお本実施の形態において、表示板11は両眼同一のものでも、片眼のみの表示で他の方は何も表示することなく外観が見える構成であってもよい。さらに、左右の眼に対応した構成の情報を表示することで立体視を行うシステム構成にすることで臨場感の向上につながることは言うまでもない。

【0044】なお、本実施の形態において、文字情報、画像情報の表示板11を液晶ディスプレイにて表示する構成としているが、LED等による表示手段でも差支えない。また、TV、パソコンのCRT等の表示機に接続することで情報端末を構成できることは言うまでもない。

【0045】（実施の形態3）図7は本発明の実施の形態3における情報端末の正面図であり、電話の場合の構成例である。図7において、34は通常の電話機として使用するための送受話器、35は利用者がメモリカードに記録したい情報を選択し予約する際のメニューを表示するLCD表示器、36は通常の電話機として使用する

際には通常の押しボタンとして機能し、利用者がメモリカードに記録したい情報を選択し予約する際にはメニューの選択ボタンとして機能する押しボタン・スイッチ群である。動作については、同様に情報を入手可能であり、欲しい情報を要求することもできる。また、通信回線からの情報なやり取りとして、音声と同様にDTMFで情報のやりとりも可能であることは言うまでもない。さらに、メモリカードを着脱可能としているが、内部メモリとして使用する構成に可能なことは言うまでもない。

【0046】（実施の形態4）図8は本発明の実施の形態4における情報端末の構成を示すブロック図である。201は情報端末、202は情報を入力する入力装置であり、例えば、カメラ、スキャナーやマイクである。203は入力装置の情報をより詳細に得るために、少なくとも一つ以上の上下、左右、ズーム等のフォーカス機能等を有する移動装置である。204は入力装置202の情報を得て、データに変換して、インターフェース部へ出力するとともに、回線を介しての情報により、移動装置203を操作させるコントロール部である。205はインターフェース部であり、外部の回線に情報を出力するとともに、外部からの指令を入手するためのインターフェース部である。

【0047】動作については、別の情報端末201において、インターネット網を介して、情報端末201にアクセスすると、情報端末201では、入力装置202より、たとえば、画像情報や音声情報を収集し、コントロール部204、インターフェース部205を介して、情報を別の情報端末にて入手する。さらに、詳しい情報を得たい時には、上下、左右、ズーム等を変更する情報をインターネット網を介して、インターフェース部205へ指令情報をおくり、この指令情報をコントロール部204で解析し、その指令情報に応じた命令を移動装置203に指令する。移動装置203は、その指令情報に従って、動作するとともに、入力装置202の画像情報や音声情報を収集し、同様に送信する。本実施の形態では、移動装置203を含んだ構成にしているが、必要な情報によっては不要な構成で実現できることは言うまでもない。また、本実施の形態では、外部へ接続して、情報を入手するシステム構成にしているが、ローカル例えば、家庭内や家の外のモニター等をするためのシステム構成にできることは言うまでもない。

【0048】（実施の形態5）図9は本発明の実施の形態5における情報端末の構成を示すブロック図である。201は情報端末、202は情報を入力する入力装置であり、例えば、カメラ、スキャナーやマイクである。206は出力装置であり、プリンター、FAX、Display、マイク等の出力装置である。204は入力装置202の情報を得て、データに変換するして、インターフェース部へ出力するとともに、回線を介しての情報に

より、出力装置 206 をデータを出力するコントロール部である。205 はインターフェース部であり、外部の回線に情報を出力するとともに、外部からの指令を入手するためのインターフェース部である。

【0049】動作については、別の情報端末 201 において、インターネット網を介して、情報端末 201 にアクセスすると、情報端末 201 では、入力装置 202 より、たとえば、画像情報や音声情報を収集し、コントロール部 204、インターフェース部 205 を介して、情報を別の情報端末 201 にて入手し、出力装置 206 へ出力する。コントロール部 204 では、入力装置 201 の情報が変化したり、または、一定時間もしくは、インターネット網を介しての情報の要求があった時に、情報を配信する構成することができる。また、目的に応じて、入力装置 202 と出力装置 206 が少なくとも、一つの構成でできることは言うまでもない。さらに、実施の形態 4 の移動装置 203 を含めた構成にできることは言うまでもない。また、本実施の形態では、外部へ接続して、情報を入手するシステム構成にしているが、ローカル例えば、家庭内や家の外のモニター等をするためのシステム構成にできることは言うまでもない。

【0050】本発明において、情報端末および情報配信装置の情報のやりとりをするために、セキュリティ機能を入れた方がいいことは言うまでもないし、容易に構成できる。また、回線使用料等に応じた課金管理また、広告料の管理をしたシステム構築することで利用者、情報配信者の費用負担の分担及び管理ができるシステム構築が可能となることは言うまでもない。

【0051】なお、本発明はインターフェースを本実施の形態に限定するものではなく、インターフェースの物理層の種類及びその数を規定するものではない。また、情報端末 A101 は、電話機、FAX、テレビ電話機、パソコン等であってもよい。また、通信網は、ISDN のような統合デジタル通信網、国際公衆網、ケーブルモデム網、DSL モデム網又は企業内で独自に構築したイントラネット網であってもよい。つまり、情報端末 A101 から、インターネットへ接続できればよい。インターネット網 103 は、OSI (Open Systems Interconnection) における IP (Internet Protocol) 層を提供できるものであれば、開放型広域ネットワークでも企業内で独自に構築したイントラネット網でもかまわない。また、物理層、データリンク層及びネットワーク層に特別の限定も必要ない。

【0052】

【発明の効果】以上のように本発明は、通信網を介した情報端末と情報配信システムによって、サービス情報を入手可能となり、また、所望のサービス情報を入手することができ、要求に応じて、商品等を配達することでサービスをうけることができ、また、必要な情報を外部よ

り入手でき、細な情報を入手可能であり、特別な KEY により、セキュリティを保つことができ、状況の変化を得ることができ、異常が発生した時に知らせる等の警告情報を知らせることができ、課金管理と費用分担ができるネットワークシステムを構築することができ、その実用的効果は大なるものがある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の実施の形態 1 における情報端末と情報配信システムの構成図

【図 2】本発明の実施の形態 1 における情報端末の斜視図

【図 3】本発明の実施の形態 1 における情報端末の表示例を示す図

【図 4】本発明の実施の形態 1 における情報端末の表示例を示す図

【図 5】本発明の実施の形態 1 における情報端末の構成を示すブロック図

【図 6】本発明の実施の形態 2 における情報端末の斜視図

【図 7】本発明の実施の形態 3 における情報端末の正面図

【図 8】本発明の実施の形態 4 における情報端末の構成を示すブロック図

【図 9】本発明の実施の形態 5 における情報端末の構成を示すブロック図

【符号の説明】

1 装置本体

2 通信回線

11 表示板

13 ヘッドフォン

14 外部インタフェース

16 デジタル信号処理回路

17 D/A コンバータ

18 FM 変調回路

19 送信器

20 DMA

21 システムコントローラ

22 映像復調回路

23 LCD コントローラ

26 受信器

27 FM 復調回路

28 オーディオアンプ

101 情報端末 A

102 情報端末 B

103 インターネット網

104 情報発信装置

201 情報端末

202 入力装置

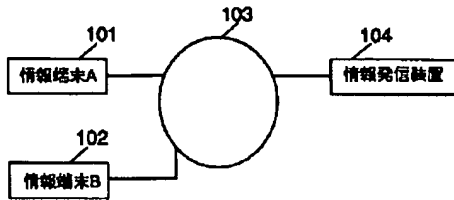
203 移動装置

204 コントロール部

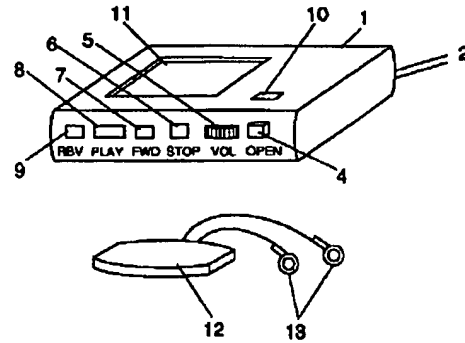
205 インターフェース部

\* \* 206 出力装置

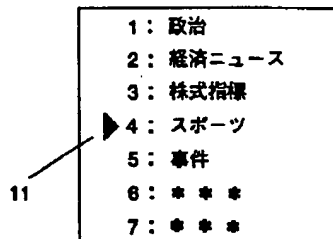
【図1】



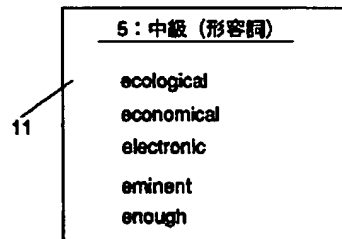
【図2】



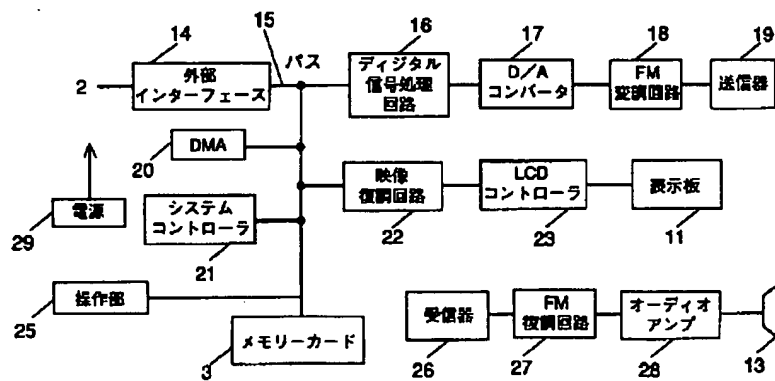
【図3】



【図4】

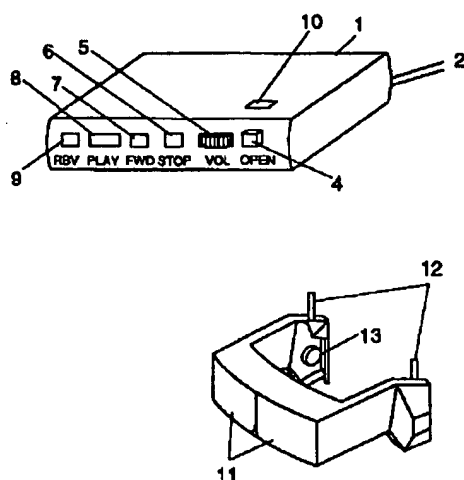


【図5】

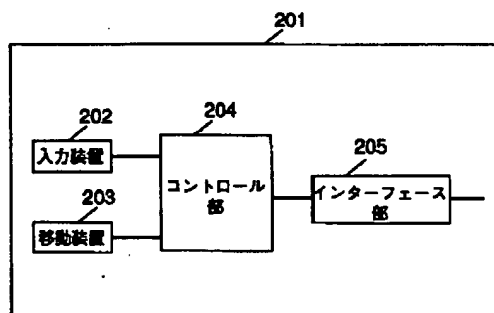




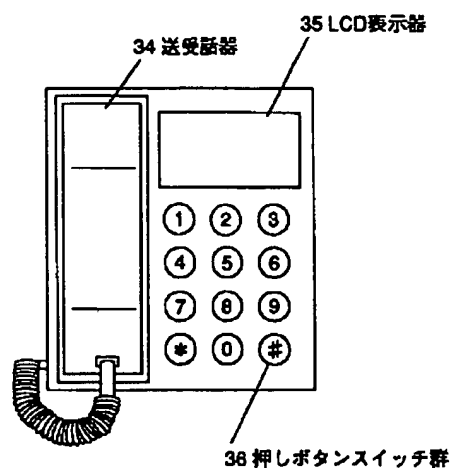
【図6】



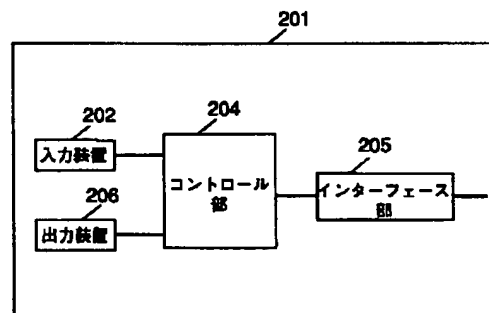
【図8】



【図7】



【図9】



フロントページの続き

(72)発明者 今村 徹

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 田中 政史

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72)発明者 有高 明敏

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

F ターム(参考) 5B089 GA11 GA25 GA26 GB04 HA10

JA33 JB22 KA03

5K101 KK16 KK17 KK18